

| 会 議 記 録 | | | |
|-----------|------------------------|---------|--------------|
| 会 議 の 名 称 | 予算特別委員会 産業建設分科会 | 会議場所 | 第2委員会室 |
| | | 担当職員 | 佐藤 |
| 日 時 | 令和4年3月17日（木曜日） | 開 議 | 午前 10 時 00 分 |
| | | 閉 議 | 午前 11 時 59 分 |
| 出席委員 | ◎赤坂、○小川、田中、奥野、藤本、木曾、菱田 | | |
| 出席理事者 | | | |
| 出席事務局 | 佐藤主任 | | |
| 傍聴者 | 市民0名 | 報道関係者0名 | 議員0名 |

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

(赤坂分科会委員長あいさつ)

2 委員間討議

<木曾委員>

市長質疑した3項目のうち、林業担い手育成事業経費については、市長の答弁があやふやであったし、亀岡市森林組合に丸投げしているように感じた。もっと亀岡市森林組合をサポートしていくような答弁がほしかった。また、商工業振興対策経費についても、1,200万円の経費はなるべく使わず、300万円ほどに抑えるようにしてはどうかと田中委員と話していたが、他の委員はどう思うか。

<菱田委員>

森林活用推進事業経費については、もう少し力を入れるという答弁がほしかったし、その点について、委員会でそのような方向に向かうようにテコ入れをしていく必要があると思う。平和祭花火大会については、この経費で通しておいて、委員長報告などで、しっかり意見を言っていければと思う。

<田中委員>

林業担い手育成事業経費については、あまりにも亀岡市森林組合の責任のような答弁であった。当然亀岡市森林組合としてやるべきことはやらなければならないが、それをどのようにしていくのかも、亀岡市の林業政策の大きな課題であると思う。森林活用推進事業経費については、もう少し林業をどうするのかの基本的な答弁がほしかった。木育についても、亀岡産木材を使用していきたい。花火大会の経費については、必要であれば、減額補正もできるのでこのまま通したほうがよいと思う。産学官連携事業については、はっきり見えないし、市長の亀岡市への効果についての明確な答弁がなかった。思いつきの事業のように感じる。

<奥野委員>

林業担い手育成事業経費については、積極的に組織づくりに関わっていただきたいと思う。森林活用推進事業経費については、本当にどうするのか真剣に考えていただきたい。花火大会については、このまま通して、観覧席の販売や協賛金の収集について、積極的に行っていただきたい。産学官連携事業については、これ

からのことなので、1年ごとの総括をしっかりとしながらやっていただきたい。

<小川副委員長>

林業に関しては、SDGsを考えれば、循環型の森林社会を作らなければならないと思うし、亀岡市森林組合に対してもいろいろと指導していかなければならないと思う。森林活用推進事業経費については、ハード面の整備や基本計画をしっかりと立て、バイオマス活用について、近隣市町と連携していただきたい。商工業振興対策経費については、市民感情に寄り添った中で柔軟な予算立てとなっているので、花火大会については、平和祈念ということで、この予算で状況を見ながらしっかりと取り組んでいただきたい。また、産学官連携事業については、しっかりと効果が現れるように、検証していただきたい。

<藤本委員>

林業担い手育成事業経費については、亀岡市森林組合は独立した団体であるので、あまり言えないと言われていたが、しっかりと話し合っていたきたい。森林活用推進事業経費については、東京のおもちゃ美術館を意識していると思うが、しっかりと方向性を示していただき、木育の推進と森林整備が連動していくようにしていただきたい。花火大会は、市長もコロナの状況を注視して、実施の有無を見極めていきたいとおっしゃっていたので、そのような対応でよいと思う。産学官連携事業については、各年度の事業報告をしっかりと議会にしていきたい。

3 討論～分科会採決

[討論]

<田中委員>

産学官連携事業について、先ほども言ったが、市長答弁の中でも言われていたが、亀岡市での経済効果が見えないにもかかわらず、これだけの大きな予算が立てられているので、これを中心に反対していく。

<木曾委員>

産学官連携事業について、しっかりと先を見た中での判断をすべきであったのに、全員協議会で、大学の学長が来て説明をした後に、協定書を結ぶような議会軽視とも取れることをしているのもう少し慎重に進めるべきであったと思う。事業効果が分からない見通しのないようなことに、これだけの経費をかけることが情けない。他市の状況を見ても、このぐらいの規模では無理である。100億円や200億円をかけて、研究して、成果が上がるのなら分かるが、全面的な企業の支援がなければ難しいと思う。人件費はずっとかかっていくので、4年間の補助が切れてもかかっていくということが、心配であるので反対する。

<菱田委員>

賛成の立場で討論する。委員会として、いろいろな意見が出ていたが、今後、チェックしながらやっていきたいと思うし、全般的には新年度に向けて適正な予算と認めて賛成の討論とする。

<藤本委員>

賛成の立場で討論する。産学官連携事業について、新たに協定が結ばれて、イノベーションを起こして、挑戦されるということですばらしいことだと思う。しっかりと毎年の事業報告をしていただき、状況を見ながら考えていけばよいと思う。

[採決]

- ・第1号議案 令和4年度亀岡市一般会計予算（所管分）
可決・多数（反対：田中委員、木曾委員）
- ・第6号議案 令和4年度亀岡市土地取得事業特別会計予算
可決・全員
- ・第8号議案 令和4年度亀岡市水道事業会計予算
可決・全員
- ・第9号議案 令和4年度亀岡市下水道事業会計予算
可決・全員

10：24

[指摘要望事項]

<赤坂委員長>

委員長報告の作成に当たり、先ほど出た意見を踏まえて作成したいと思うが、文言については、正副委員長に一任願う。

(全員了)

<休憩 10：24～11：48>

4 委員長報告の確認

(赤坂分科会委員長 委員長報告案朗読)

<赤坂委員長>

この内容でよいか。

<田中委員>

3ページの「粗雑に対応してきた」という「粗雑」を変えたほうがよいのでは。

<赤坂委員長>

もっと良い言葉があれば変えるがどうか。

<菱田委員>

亀岡市は、亀岡市森林組合に対しての監督組織ではないため、この表現ではきついと思うので「適切に対応してこなかった責任は亀岡市にもあり」にしたほうがよいのではないか。

<赤坂委員長>

そのようにすることとしてよいか。

(全員了)

～散会 11：59